

管理者コンソール > ユーザー管理 >

JumpCloud SCIM統合

ヘルプセンターで表示:

<https://bitwarden.com/help/jumpcloud-scim-integration/>

JumpCloud SCIM統合

クロスドメインID管理 (SCIM) システムは、Bitwarden組織内のメンバーやグループを自動的にプロビジョニングおよびデプロビジョニングするために使用できます。

Note

SCIMインテグレーションは、**エンタープライズ組織**で利用可能です。SCIM互換のIDプロバイダーを使用していないチーム組織、または顧客は、プロビジョニングの代替手段としてディレクトリコネクタの使用を検討することがあります。

この記事は、JumpCloudとのSCIM統合を設定するのに役立ちます。設定は、Bitwardenウェブ保管庫とJumpCloudポータルを同時に操作することを含みます。進行するにあたり、両方をすぐに利用できる状態にして、記録されている順序で手順を完了することをお勧めします。

SCIM を有効にする

Note

あなたは自己ホスト型のBitwardenを使用していますか？それなら、進む前にサーバーでSCIMを有効にするためのこれらの手順を完了してください。

SCIM統合を開始するには、管理者コンソールを開き、**設定** → **SCIMプロビジョニング**に移動します。

The screenshot shows the Bitwarden Admin Console interface. On the left is a sidebar with navigation options: My Organization, Collections, Members, Groups, Reporting, Billing, and Settings. The 'Settings' menu is expanded, showing options like Organization info, Policies, Two-step login, Import data, Export vault, Domain verification, Single sign-on, Device approvals, and SCIM provisioning (which is highlighted). The main content area is titled 'SCIM provisioning' and contains the following elements: a sub-header 'Automatically provision users and groups with your preferred identity provider via SCIM provisioning', a checked checkbox for 'Enable SCIM' with the instruction 'Set up your preferred identity provider by configuring the URL and SCIM API Key', a text input field for 'SCIM URL' containing a masked URL, a text input field for 'SCIM API key' containing a masked key, a warning note stating 'This API key has access to manage users within your organization. It should be kept secret.', and a blue 'Save' button.

SCIM プロビジョニング

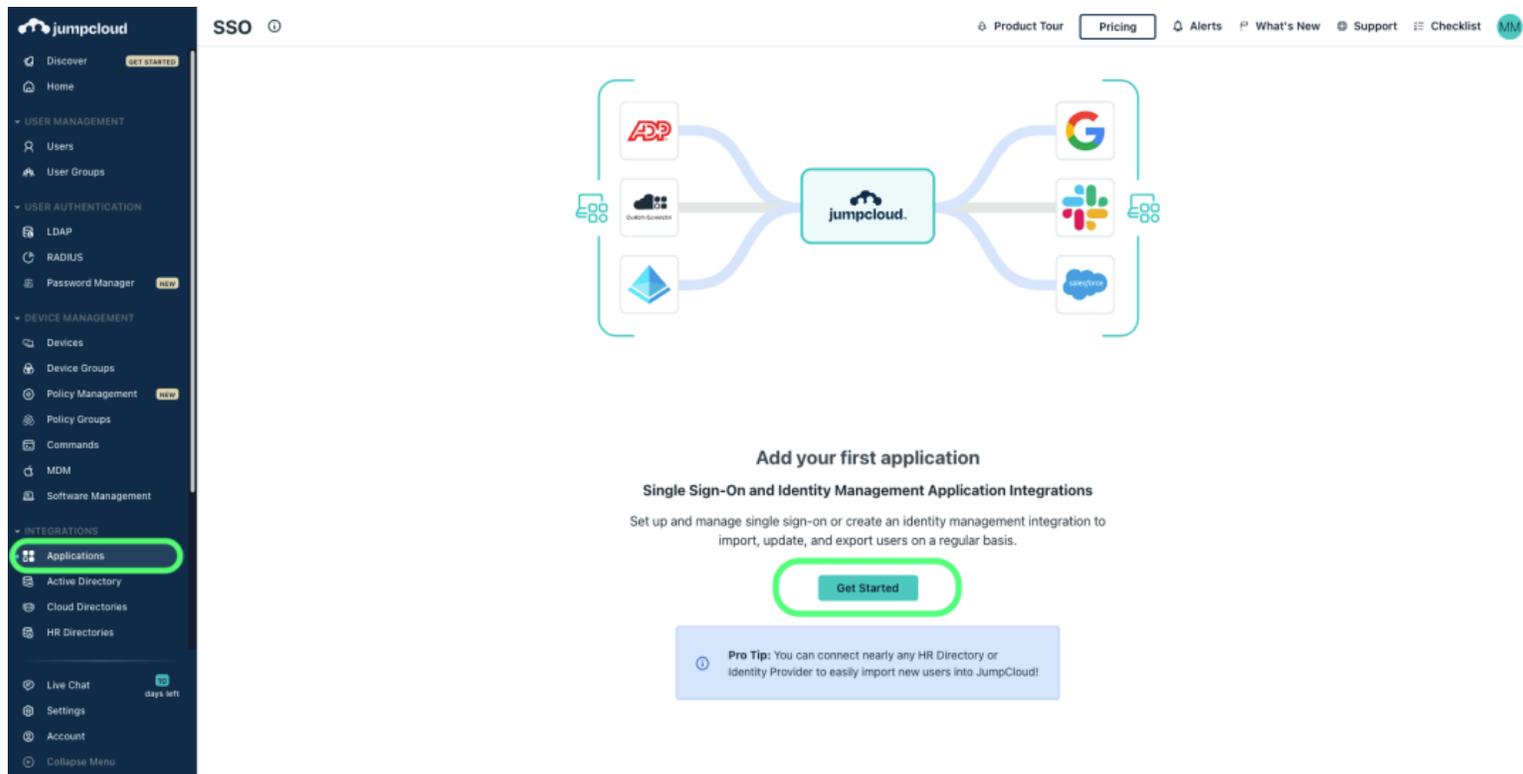
SCIMを有効にするチェックボックスを選択し、**SCIM URL**と**SCIM APIキー**をメモしてください。
後のステップで両方の値を使用する必要があります。

JumpCloudアプリを作成します



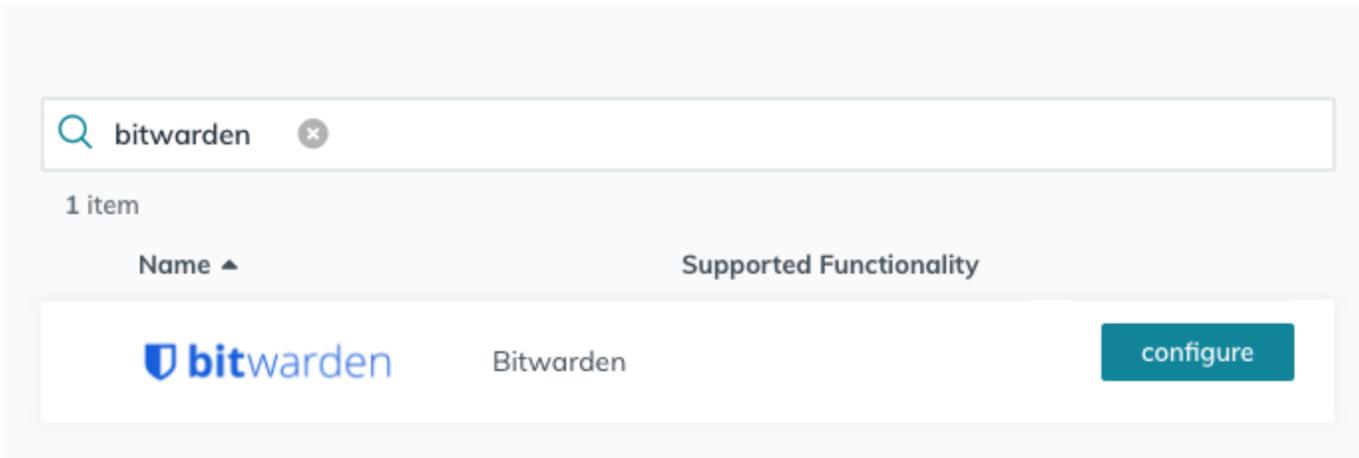
Tip
If you are already using this IdP for login with SSO, open that existing application and [skip to this step](#). Otherwise, proceed with this section to create a new application.

JumpCloudポータルで、メニューから**アプリケーション**を選択し、**開始**ボタンを選択します：



Create Bitwarden app Jumpcloud

検索ボックスに**Bitwarden**を入力し、**設定**ボタンを選択します：



[Configure Bitwarden](#)

一般情報

一般情報タブで、アプリケーションにBitwarden特有の名前を付けてください。

SSO

シングルサインオンのためにJumpCloudを使用する予定がある場合は、**SSO**タブを選択し、[これらの指示](#)でSSOを設定してください。あなたが終了した場合、または今のところSSOをスキップしている場合は、**有効化**ボタンを選択し、**確認**モーダルを完了してください。

ID管理

アプリケーションを再開し、**ID管理**タブに移動します。**設定**ボックスを展開し、以下の情報を入力してください:

フィールド	説明
ベースURL	SCIM URLを入力してください (もっと詳しく)。
トークンキー	SCIM APIキーを入力してください (詳細を学ぶ)。

これらのフィールドを設定したら、**有効化**ボタンを選択してください。テストが成功したら、**保存**を選択してください。

ユーザーグループ

ユーザーグループタブで、Bitwardenにプロビジョニングしたいグループを選択してください。**保存**ボタンを選択すると、この仕様に従ったプロビジョニングがすぐに開始されます。

Bitwarden

Single sign-on

- Integration Status
- IDP Certificate Valid expires 02-18-2027
- IDP Private Key Valid ▼

Identity Management

- Integration Status

General Info
SSO
Identity Management
User Groups

The following user groups are bound to bitwarden. Users will have access in their User Portal.

1 of 4 user groups bound
 show bound user group (1)

<input type="checkbox"/>	Type	Group ▲
<input checked="" type="checkbox"/>		All Users Group of Users
<input type="checkbox"/>		Development Group Group of Users
<input type="checkbox"/>		Marketing Group Group of Users
<input type="checkbox"/>		Sales Group Group of Users

Select User Groups

ユーザーオンボーディングを完了する

あなたのユーザーが準備されたので、彼らは組織に参加するための招待を受け取ります。ユーザーに招待を受け入れるよう指示し、それが完了したら、[組専に確認してください](#)。

i Note

The Invite → Accept → Confirm workflow facilitates the decryption key handshake that allows users to securely access organization vault data.

付録

ユーザー属性マッピング

Bitwardenは標準的なSCIM v2プロパティ名を使用しますが、これらはJumpCloudのプロパティ名と異なる場合があります。Bitwardenは、各ユーザーに対して以下のプロパティを使用します：

Bitwarden属性

アクティブ

メール

JumpCloud デフォルトプロパティ

!停止中 && !パスワード期限切れ

メールアドレス

Bitwarden属性**JumpCloud デフォルトプロパティ**

表示名

表示名

- SCIMはユーザーがオブジェクトの配列として複数のメールアドレスを持つことを可能にするため、Bitwardenは値を使用します。そのオブジェクトには"**primary**": trueが含まれています。

グループ属性マッピング

Bitwardenは、各グループに対して以下のプロパティを使用します：

Bitwarden属性**JumpCloud デフォルトプロパティ**

表示名

表示名

メンバー

メンバーたち

- メンバーシップは、各々がそのグループのメンバーであるユーザーを表すオブジェクトの配列としてBitwardenに送信されます。